2026年
9月3日
（木）

神戸新聞 朝刊に掲載されました

オープンホスピタル開催
記事

医療系の進路希望する学生ら
現場で検査機器など体験
大西脳神経外科病院で50人

医療職への関心を高めてもらおうと、大西脳神経外科病院（明石市大久保町江井島）が「オープンホスピタル」を開いた。市内外から医療系の進路を志望する高校生や専門学生、大学生ら約50人が参加した。

医療現場の検査機器の操作や現場の職員から実際に話を聞くことなどを通じ、医療職へ進む若者を増やそうと、同病院が2011年から開いている。

同病院内には看護部や薬剤部、医務部など、それぞれの部署のブースが設置され、参加者は職員から仕事のやりがいや大変さなどを聞いたり、検査機器を動かしたりしていた。手術室では野菜を使って内視鏡機器を操作する様子がモニターに映し出され、参加者は興味深そうに職員の説明に聞き入っていた。

放射線技師を目指しているという神戸総合医療専門学校3年の形木原勇さん（20）は「教科書でしか見られないような機械に触れることができ、働くことへの実感がわいた」。同病院事務部の瀧原健司参与は「医療の世界はしんどいことも多いが、やりがいも非常に大きいので、少しでも興味を持ってくれる人が増えれば」と期待した。（新田欧介）

内視鏡機器の操作を見学する参加者ら
＝明石市大久保町江井島